

母月1日15日発行
発行所 大分市役所
編集兼発行人
兼 田 俊 生
印刷所高木印刷KK

大分市政だより
い。中放せで半毎
°。楽送やの時から週
日。くされるは間は放通
おの、皆は市間送曜
きので、様方のおラ日
下さ、声知のオ午
さ家がら分前七時

七月十五日(水)午前十一時、臨時職
グランドに集合して、大分県中
央大会開催(約二時間)の後、
市中行進に移り、午後四時別府
浜舘のなかよふ公園到着となつ
ています。なお、十五日の県中
央大会には一般市民内労組、
婦人会、青年団、学生など、五
千名が参加することになってい
ます。

市社会福祉協議会は、次の方
に香典返しに代えて、金一封の
義捐附をいただきました。ご芳志
ほど厚くお礼申し上げます。

荒巻庄太郎氏 上野東三組
日置孝松 〃 王子町
富田一天 〃 仲之町

切替えは九月一日から

[illegible]

分以上を占め、これは少しでも多く住民福祉のために使われなければなりません。そこで「訪問徴収」のための人件費、物件費等の徴収経費を節約し、その分を道路、学校、地元商業振興等、より一層市民の役にたつ経費に廻して活用したいということです。いかえれば、市税の滞納を整理するため、市税を浪費するといつた無駄をなくしたいためです。

マツシユルム
ふくろたけ
の栽培

椎茸の種マダで有名な森産業によつて、本市に決定したもので、株式会社（本社群馬県桐生市新宿 従つて大分市は、九州各県は勿論通じ）が、市内鶴徳寺町に「マツシユルム」と「くろろたマツ」の二種菌培養、製造、罐詰の各工場を建設することになりました。

はゞとわかといへば日本人の嗜好

トーライト工場建設

甜菜糖工場の着工に引続いて近除剤としては、製糖 醸造に用い
く日本トローライトKK（本社東京られ 充填剤としては製紙、テト
都港区芝田町四丁目一番地）の ロン（化繊）等に用いられます。
大分工場が畑中に建設される。 またトローライトは現在の国内生
トローライトは濃過除剤又は充填 産量では、需要に応じきれない状
剤として近代科学に欠くことの出 況であるで、極めて有望な産業
来ないもので、これまで米国より で本市がうける利益も非常に大き
多量に輸入されていたのです。 いと思います。

豊富に有する本県に同社が着眼、その焼成工場を畑中、上水水源地東側に建設することになったものです。

工場敷地は約一万八千平方米で、この敷地内に生の原料（珪藻土）を乾燥する乾燥工場と、更に乾燥した原料を焼く焼成工場が建てられます。

希望者は、七月十五日までに大分市金池町中央公民館自動車教室係イにかけられトライートの製品になるわけですが、その用途は濾過まで住所、氏名、年令、勤務先を

市中央公民館では、第二回自動車教室を七月二十一日から八月末日まで、一日おきに二千回長浜小学校で行います。時間は毎日午後

五時四十分から七時四十分まで、会費は無料ですが、ガソリン代車費は二百円程度負担していたがきま

市場を開く

門を
福に
佐人
文自
動啓

午後四時半大阪港来、十九日午
前十時五〇分別府着です。

同居児童の届出

今月中に社会課まで
市社会課では、同居児童の保護
をはかるため、今月一パイを児童
福祉法に基く、「同居児童の届出
期間」として、次に該当される方
の積極的な届出を求めています。
この届出の対象者は十八才未

浮ぶ

羊の脾臓ひが多くなつてくる。この病状にかかると、後あしが不自由になり、立つことができないほど腰が弱くなる。

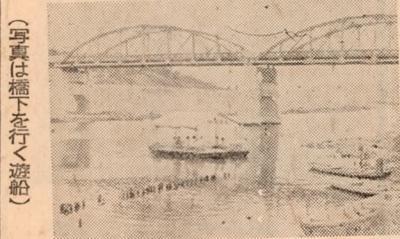
伝糸経路は母里から生み出された幼虫が、蚊の吸血の際吸い込み、蚊の体内である程度発育し動物に注入することになる。この糸状虫は動物の脳、背すいを破壊するので、神経系統が切斷される。

予防は七月から十月まで、二週間おきに投薬すればよく、内服薬は市農務課であつて旋している。希望者は申込んで下さい。

大分川に遊船浮ぶ

大分市の母なる川「ここができる。」
大分川」に今年も七月一日から遊船が浮ぶことになった。この遊船は地元明礬遊船組合（組合長梅田生駒氏）の経営になるもので、今年で三年目。最近は利用者も多く、数日前に電話で申込みば、この川でとれたウナギ、アユ、コイの川料理で結構、夏の一夜を楽しむことができる。

日本のどの河川にも共通する降れば橋を流し、照れば底を憂へ出すこの川も、ここでは深さ三米もあり、昨年完成した両岸の堤防も、近代的な明礬橋は、地区発展のためにも大きな存在となっている。一人前五百円の川料理に、夏の涼味を調製させて職場の友と井バタをたいて興を催すことも、市民であれ、一度経験しておく必要もあり、将来の語り草にもなるだろう。



て、毎年一回行われる「めん羊
山羊の市場」が、今年も狭間町で
開催されました。めん羊、山羊の飼
育は、大分市が先進地の北海道や
群馬、長野県果から大量に導入し
品種の改良と繁殖をはかつてきた
ため大分地方の飼育数は、年と共
に盛んになり、今では県下の中心
地として、その名を知られるよう
なりました。

処が普及はしたものの売買のこ
とになると、誰れがどんな血統
のものを飼っているか、それさ
せているものゝ後見人からな
て、自分の家に三月以上（乳児
は一ヶ月）同居させているもの
は二月以上（乳児は二十
日以上）になる方は、同居を始め
た日から三月以内（乳児一ヶ月
以内）に、市長に届出ることになつて
います。

なお、届出用紙は市社会課にあ
るが、該当児童・児童福祉法に
より委託されたもの、単に下宿
させてあるといった方は、届出
の必要がありません。
